

2025 年 10 月 29 日

「2025 年 7～9 月期業況アンケート調査」結果 (2025 年 10 月調査)

全産業の業況感は3期ぶり改善も、先行きは悪化見通し

照会先 一般財団法人長野経済研究所
調査部（担当：桑井、中村）
電話 026-224-0501



2025 年 7～9 月期 業況アンケートから

全産業の業況感は 3 期ぶり改善も、先行きは悪化見通し

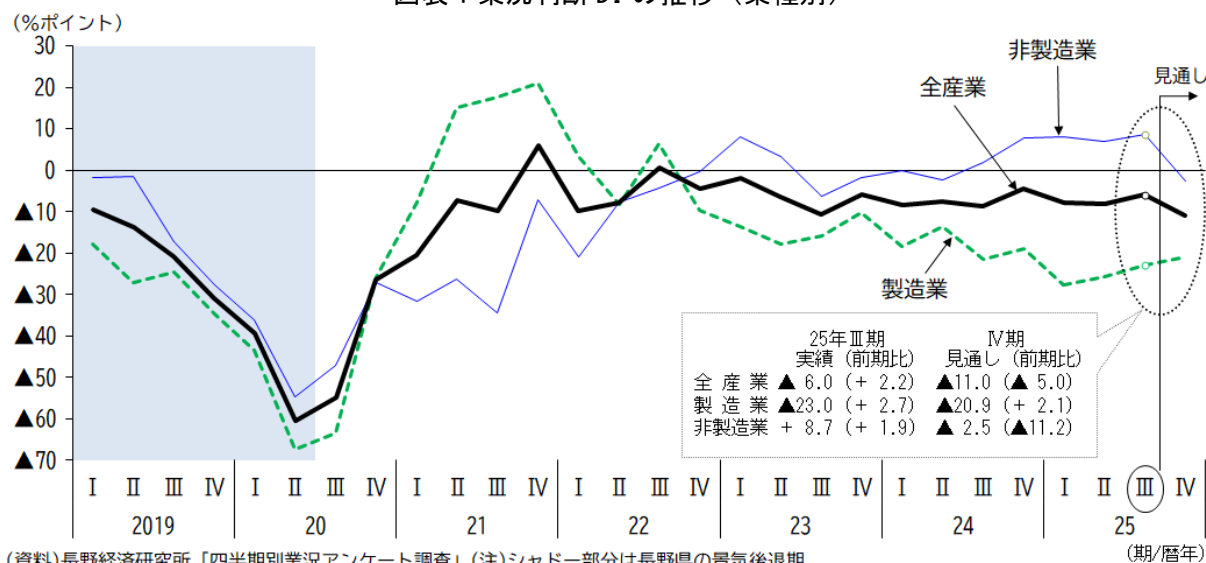
○製造業、非製造業ともに改善

- ・ 25 年 7～9 月期の県内企業の業況判断 DI（業況が「良い」と答えた企業割合－「悪い」と答えた企業割合、%ポイント）は、全産業が△6.0 と前期に比べ 2.2 ポイント上昇し、3 期ぶりに改善した（図表 1）。
- ・ 業種別には、製造業が△23.0 と前期に比べ 2.7 ポイント上昇し、2 期連続で改善したほか、非製造業も＋8.7 と同 1.9 ポイント上昇し、2 期ぶりに改善した。
- ・ 規模別には、大企業非製造業が悪化したものの、それ以外は改善した（図表 2）。
- ・ 25 年 10～12 月期は、全産業が△11.0 と今期に比べ 5.0 ポイント低下する見通し。業種別では、製造業は△20.9 と同 2.1 ポイント上昇する一方、非製造業は△2.5 と同 11.2 ポイント低下する見通し。企業規模別では、大企業は製造業が△20.0 と 2.8 ポイント上昇する一方、非製造業は±0.0 と 3.6 ポイント低下する見通し。中小企業も製造業が 1.9 ポイント上昇する一方、非製造業は 12.8 ポイント低下する見通し。
- ・ 25 年 7～9 月期の売上高は、非製造業は前年を上回ったが製造業は下回った。10～12 月期は、製造業、非製造業いずれも前年を下回る見込み。25 年 7～9 月期の経常利益は、製造業は前年を下回り、非製造業は前年並みに止まった。10～12 月期は製造業、非製造業ともに前年を下回る見込み（図表 3、4）。
- ・ 雇用水準 DI は、非製造業の不足感がやや緩和し、設備水準 DI は、製造業が再び過剰超に転じた（図表 5、6）。

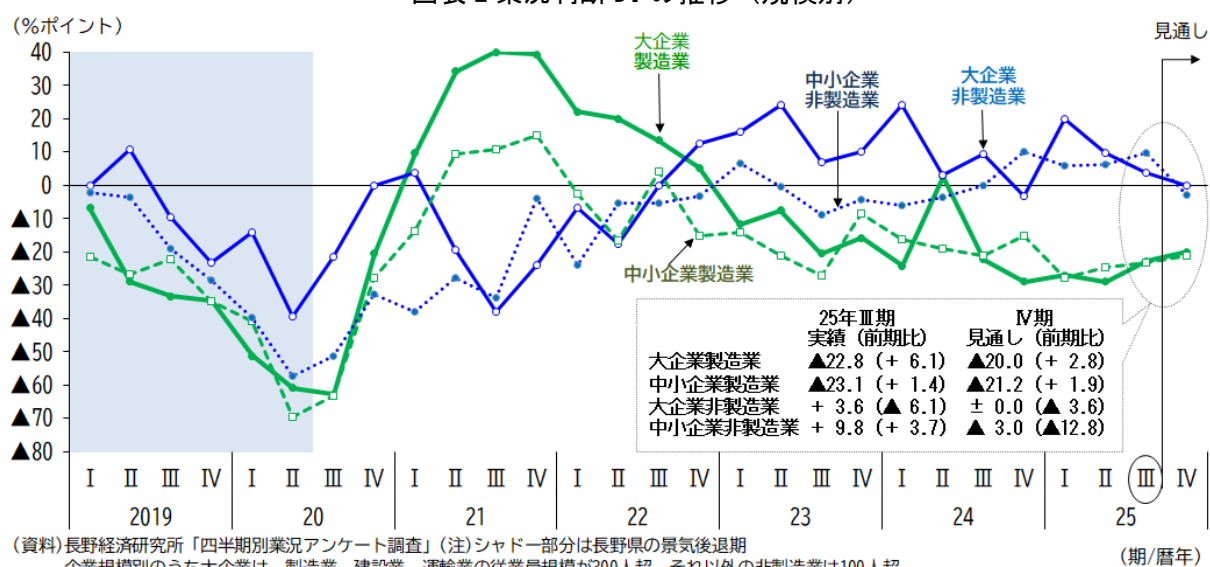
○今回調査のポイント

- ・ 25 年 7～9 月期の製造業は、サーバー向けの人工知能（AI）関連需要で動きがみられたものの、中国景気の低迷や PC・スマートフォンなど IT 関連需要の減少に伴い受注は低調だった。ただ、米国の関税引き上げに対する不透明感が薄らいだことで、全体の業況感は水面下ながらやや改善した。非製造業は、製造業関連の受注は低調だったが、観光関連業で客数増加や客単価上昇がみられ業況感が改善した。
- ・ 25 年 10～12 月期の製造業は、引き続き業況感の改善を見込むものの、中国景気の低迷や IT 関連需要の弱さが続くほか、米国の関税引き上げ後の先行きの受注に対する不透明感が残る見通し。非製造業は、観光面では秋の行楽シーズンを迎え、国内客やインバウンド需要は底堅く推移するものの、物価高に伴う消費者の節約志向の高まりや継続的な価格転嫁に対する需要の落ち込みへの不安などから、業況感は悪化する見通し。
- ・ 今後については、製造業では米国の輸入関税の引き上げが及ぼす受注や設備投資への影響、非製造業では消費者の節約志向の高まりに伴う需要の動向などが注目される。

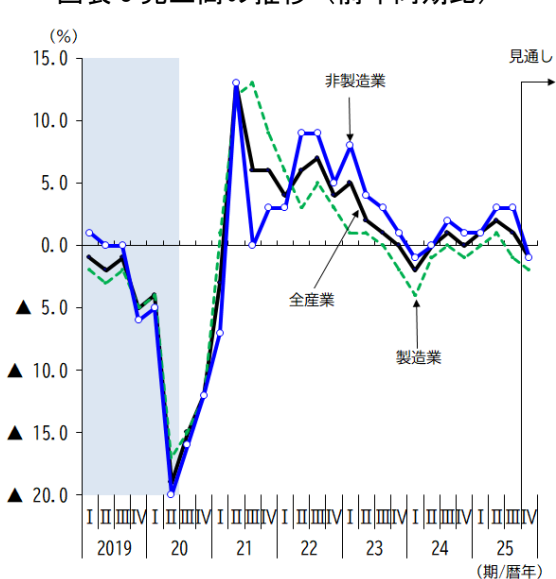
図表 1 業況判断 DI の推移（業種別）



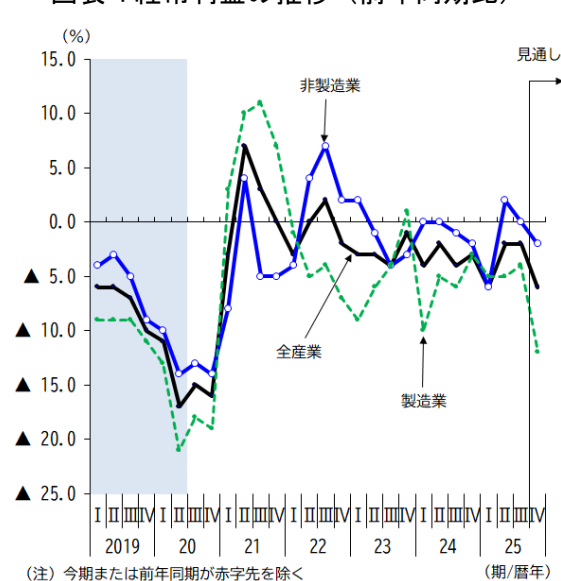
図表 2 業況判断 DI の推移（規模別）



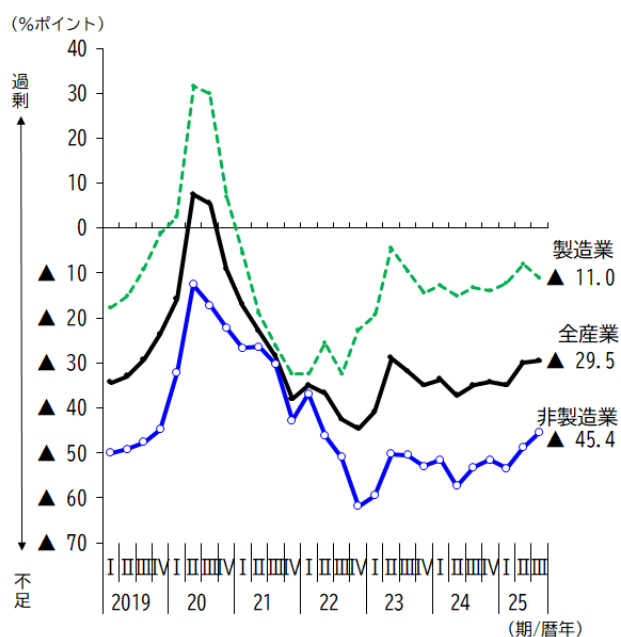
図表 3 売上高の推移（前年同期比）



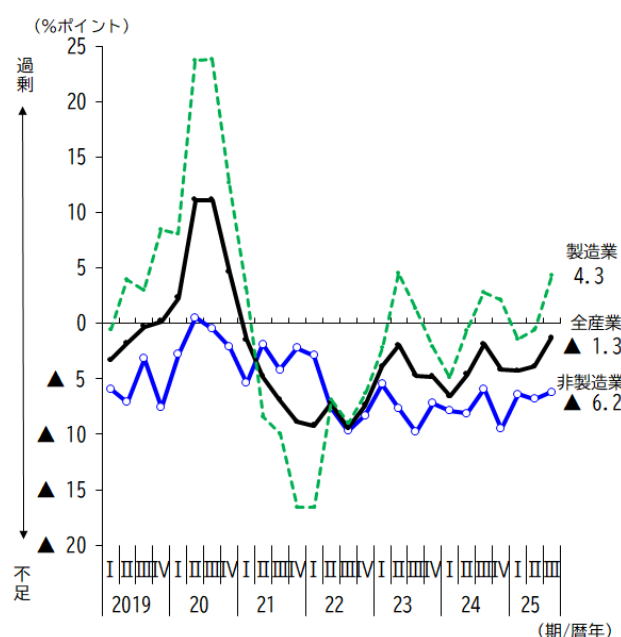
図表 4 経常利益の推移（前年同期比）



図表5 雇用水準DIの推移



図表6 設備水準DIの推移



<各DIの推移>

□ 業況判断DI (業種・規模別) (回答社数構成比「良い」-「悪い」・%ポイント)

業種		2024 年 7～9 月	10～12 月	2025 年 1～3 月	4～6 月	7～9 月	10～12 月 見通し
全産業		▲8.8	▲4.5	▲7.8	▲8.2	▲6.0 (▲14.9)	▲11.0
	製造業	▲21.5	▲18.9	▲27.6	▲25.7	▲23.0 (▲24.3)	▲20.9
	非製造業	1.8	7.7	8.2	6.8	8.7 (▲6.8)	▲2.5
	卸小売業	▲14.3	▲6.4	▲1.4	▲4.3	▲4.7 (▲15.7)	▲11.0
	建設業	2.8	7.5	5.0	4.9	7.1 (▲20.0)	▲2.4
	サービス業	18.4	21.2	21.6	19.4	25.0 (10.5)	7.2

規模別	製造業	大企業	▲22.3	▲28.9	▲27.0	▲28.9	▲22.8 (▲23.7)	▲20.0
		中小企業	▲21.3	▲15.2	▲27.7	▲24.5	▲23.1 (▲24.6)	▲21.2
	非製造業	大企業	9.4	▲3.3	20.0	9.7	3.6 (0.0)	0.0
		中小企業	0.0	10.1	5.8	6.1	9.8 (▲8.2)	▲3.0

※括弧内は前回見通し

□ 雇用水準判断 DI (回答社数構成比「過剰」－「不足」・%ポイント)

業種			2024 年 7～9 月	10～12 月	2025 年 1～3 月	4～6 月	7～9 月
全産業	製造業		▲35.0	▲34.3	▲35.0	▲30.0	▲29.5
	非製造業		▲53.2	▲51.5	▲53.5	▲48.8	▲45.4
		卸小売業	▲44.3	▲39.7	▲44.3	▲44.3	▲34.9
		建設業	▲66.7	▲67.5	▲67.5	▲56.1	▲61.9
		サービス業	▲55.4	▲53.0	▲55.0	▲49.3	▲44.6
規模別	製造業	大企業	▲11.1	▲13.2	▲21.6	▲18.4	▲11.7
		中小企業	▲13.9	▲14.3	▲8.9	▲4.4	▲10.7
	非製造業	大企業	▲53.1	▲56.7	▲70.0	▲58.1	▲50.0
		中小企業	▲53.3	▲50.4	▲50.0	▲46.9	▲44.3

□ 設備水準判断 DI (回答社数構成比「過剰」－「不足」・%ポイント)

業種			2024 年 7～9 月	10～12 月	2025 年 1～3 月	4～6 月	7～9 月
全産業	製造業		▲1.9	▲4.2	▲4.3	▲3.9	▲1.3
	非製造業		2.8	2.1	▲1.4	▲0.6	4.3
	卸小売業	▲5.9	▲9.5	▲6.4	▲6.8	▲6.2	
		▲8.6	▲6.3	▲10.0	▲8.6	▲4.7	
		▲5.6	▲5.0	▲2.5	0.0	▲4.7	
		▲3.1	▲15.2	▲5.0	▲8.9	▲8.9	

規模別	製造業	大企業	5.6	7.9	0.0	5.2	5.9
		中小企業	1.9	0.0	▲2.0	▲2.6	3.8
	非製造業	大企業	▲15.6	▲20.0	▲10.0	▲3.3	▲3.5
		中小企業	▲3.6	▲7.2	▲5.8	▲7.5	▲6.7

■ 調査概要

- ・ 企業経営者を対象にした調査で、業況、売上高、経常利益、受注、生産、価格など、企業活動に関する現状と見通しを数字で表したものである。具体的には、個々の項目毎に、良い、好転（増加等）と回答した企業から、悪い、悪化（減少等）と回答した企業割合の差を算出するほか、当期の水準を前年同期と比較、検討し、その動きから景気全体の趨勢を判断する。

◆ 調査対象期・実施時期・為替レート

- ・ 対象期 2025 年 7～9 月期、見通し 25 年 10～12 月期
- ・ 実施時期 25 年 9 月中旬～10 月上旬
- ・ 平均為替レート 25 年 7～9 月：147.41 円/\$（4～6 月：144.54 円/\$）

◆ 対象県内企業・事業所

		製造業			非製造業			卸・小売	建設	サービス	大企業	中小企業	合計
			大	中小		大	中小						
合計	対象先数	258	55	203	352	42	310	139	78	135	97	513	610
	回答先数	139	35	104	161	28	133	63	42	56	63	237	300
回答率（%）		53.9	63.6	51.2	45.7	66.7	42.9	45.3	53.8	41.5	64.9	46.2	49.2

（注）企業規模別のうち大企業は、製造業、建設業、運輸業の従業員規模が 300 人超、それ以外の非製造業は 100 人超

◆ 製造業の想定為替レート（平均）

	2025 年度上半期	2025 年度下半期
ドル円	144.78 円（145.00 円）	145.12 円（145.00 円）
ユーロ円	161.08 円（160.00 円）	162.24 円（160.00 円）

※ 括弧内は中央値

以上